

屋久島徳洲会病院

『徳洲新聞』全戸配布

島の方々の“絆”を重視

屋久島徳洲会病院(鹿児島県)は一般社団法人徳洲会が発行する徳洲会グループの広報紙『徳洲新聞』の全戸配布を行っている。グループ全体の情報の提供と、同院に通院していない島民の方々のつながりを維持しようという島唯一の病院ならではの試みだ。



南部病院開催の調理実習で熱心に餃子をつくる利用者さん

同院は10年以上前から『徳洲新聞』の全戸配布を実施してきた。不要との申告のない各家庭に対し、週1回発行の同紙を毎週配布、月に1回発行する広報誌や病院祭など告知チラシを同封することもある。

目的のひとつは、徳洲会グループ全体の情勢を報知すること。開院18年が過ぎ、島に『徳洲会』が定着した今、全国各地の徳洲会病院に関心を寄せる人も少なくなく、「本土の病院に新しく入った医療機器について話題にされる方や、その病院に行ってみたくと話される方もいます」と齊藤博実・事務責任者は反応を語る。

全戸配布のもうひとつの目的は、他院に通院していたり、健康で病院とかかわりなく生活していたりする島民の方々に、同紙を通じ、いざという時の“絆”を残しておくことだ。同島には診療所が6院あり、高速船を使えば鹿児島本土まで2時間で行ける距離に立地しているため、ふだんは同院と縁のない島民も多い。

しかし、同院は島にひとつの病院であることから、「いつでも気軽に頼っていただけるよう、常につながりを保っておきたいと考えています」と山本晃司院長。

同島は夏季に観光客や帰省客が集中、人口が一気に増え、そのぶん突発的な怪我などの来院も増える。「島民の方はもちろん、観光で来島された方にも、何かあれば利用していただけるよう、宿泊施設への情報提供もマーケティング課を通じて行っています」と、齊藤・事務責任者は島唯一の病院ならではの気配りを見せていた。

しかし、同院は島にひとつの病院であることから、「いつでも気軽に頼っていただけるよう、常につながりを保っておきたいと考えています」と山本晃司院長。同島は夏季に観光客や帰省客が集中、人口が一気に増え、そのぶん突発的な怪我などの来院も増える。「島民の方はもちろん、観光で来島された方にも、何かあれば利用していただけるよう、宿泊施設への情報提供もマーケティング課を通じて行っています」と、齊藤・事務責任者は島唯一の病院ならではの気配りを見せていた。

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「あの時、もしAEDがあったらなら……」山形病院が、山形市立金井中学校で教員を対象に実施したBLS講習会。長い教員生活のなかで生



救命医療のスキルアップを図る院内サークル「タルト部」のユニフォームを着る尾形主任(左)と樋口副主任

徒の突然死を経験していたひとりが受講後、そうつぶやいた。その生徒は前触れなく、突然倒れたという。周囲の教員らがあわてて駆け寄り救急車が到着するまで必死の救命活動。病院到着後も医師らが力を尽くしたが、生きてほしいという関係者の願いは届かなかった。教員らが祈るような思いで行ったのは胸骨圧迫(心臓マッサージ)と人工呼吸。救急車内ですらAEDのなかった時代だ。

マーケティング総力特集

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

山形徳洲会病院は目前の患者さんだけでなく、多くの命を救うため、一般の方々を対象にBLS(一次救命処置)講習会を無料で実施している。受診行動に直接つながらない医療圏外からの講演依頼にも積極的に応じ、地域医療部スタッフが中心となってAED(自動体外式除細動器)の使い方など指導。田林隆明事務長は「徳洲会の行いが救命につながれば信頼が生まれます。病院の営業活動は信頼の積み重ねがすべてと言っても過言ではありません」と強調する。

生徒が倒れる可能性がゼロでないことを示され、教員らは真剣な態度で講習に臨んだ。救命にはチームワークも重要で「AEDを持ってきてくだささい」など、かけ声も欠かさない。

山形徳洲会病院 信頼の積み重ねがすべて 地域医療部がBLS講習会



教員らは真剣な態度で心臓蘇生法を実施

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

主張する。「自院の医療内容を報知する医療講演も重要ですが、地域の50年先の未来を考えた活動も大切です。当院が直接、救命医療にかかわらなくても、講習会によって救命し得た命があれば、やがて信頼を生み、患者さんも増えるでしょう」。実際にこの活動は救命につながっている。同院が町内会で実施したBLS講習会の受講生が、家族のCPRに遭遇、とつさに講習会で受けた心臓マッサージを思い出し、救急隊員が駆け付けるまで心臓蘇生法を施行、無事に救命し得た。「この前の講習会のおかげです」と声をかけられ、樋口副主任と尾形主任は「こういうことがあるから、続けていかねばと思ふのです」と満足げだ。

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

「健康な子どもにも心臓突然死は起こり得ます」山形病院地域医療部の樋口秀一副主任は、教員らに子どもの突然死の事例を提示し、そう訴える。日本スポーツ振興センターによると、2010〜13年の通学や修学旅行を含む学校管理下での生徒の突然死は、意識不明のまま数カ月後に死亡した例も含め、年11〜25人、半数近くがスポーツ中に倒れ、直前まで異常

石垣島徳洲会病院 YouTube 訪問診療に注力 高度医療も導入 ウェブ動画で紹介 「どんな場所でも生命だけは平等だ」 徳洲会グループはインターネット上の動画サイト「YouTube」に、グループ病院の医療への取り組みを紹介する番組を毎月配信。今回は沖縄本島の南西約430kmに位置するリゾートアイランド、石垣島にある石垣島徳洲会病院を訪ねた。同院の医療の特徴は訪問診療。50人の患者さんの自宅を回っている。100歳を超える長寿の方も多く、30〜40人の家族・親族に囲まれ看取りを行うこともある。高度医療にも力を入れ、心臓カテーテル検査では沖縄本島にある南部徳洲会病院の医師が毎週、内視鏡による早期がんの治療では大阪の岸和田徳洲会病院の医師が毎月来島している。吉俣哲志院長は「人的な面でも設備の面でも、徳洲会という大きな組織だから、離島の小さな病院でもできるのです」とスケールメリットをアピール。番組へのアクセスは、徳洲会グループのホームページ(http://www.tokushukai.or.jp)のトップ画面にあるバナー「どんな場所でも生命だけは平等だ」をクリック! 徳洲会グループのホームページにあるこのバナーをクリックすると、番組にアクセスできる

他院紹介で関係強化 大隅鹿屋病院が逆転の発想 大隅鹿屋病院(鹿児島県)は地域医療連携課がマーケティングを担当、渉外係を配置し、講演担当は医療講演や地域への訪問を通じて近隣の医療機関との関係づくりに尽力している。医療講演は医師、看護師を講師として、地域の公民館や施設、団体などを会場に開催。1カ月に約30回開き、計400人程度が参加する。同院は昨年からのこの医療講演で資料の一部に近隣の医療機関に関する情報を記載した用紙を参加者に配布。用紙には、当該地区名、医療機関名、所在地、連絡先などの一覧表とともに、受診や検査に関して各医療機関を勧める文言を簡潔書きで記している。「地域とのパイプづくり、とりわけ近隣の医療機関との関係強化は喫緊の課題です。訪問して当院の紹介をするのではなく、当院がほかの医療機関を勧めることで関係構築を試みています」と同課の鳴川信雄主任は説明する。掲載する医療機関に対しては「今後いろいろアイディアで、近隣の医療機関との連携を深めていきたいと思います」(岩切孝一郎・同課係長)